

プレミアム わくわく子育て

商品券 申し込みは6月1日から

市と綾部商工会議所は、市内の消費を喚起し、地域経済の活性化を図ることを目的に、「プレミアム商品券」と「わくわく子育て商品券」を販売。加盟店で利用でき、普段よりも2～4割お得になります。商品券の購入には、申し込みが必要。申し込み者多数の場合は抽選を行います。詳しくは新聞の折り込みチラシや市ホームページなどでお知らせします。

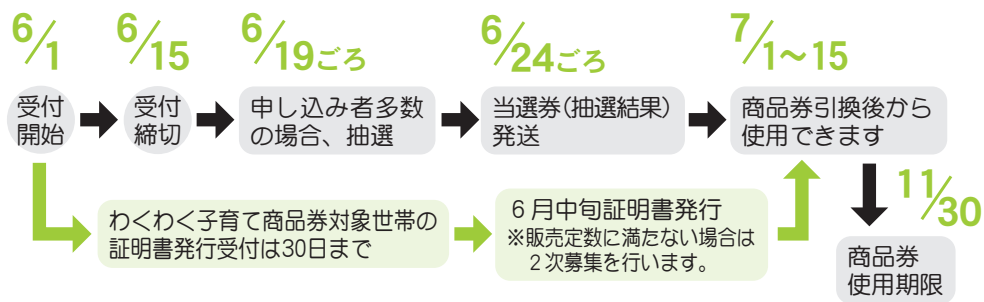


プレミアム商品券

- ・販売価格 1セット 10,000円 (1,000円券×12枚)
- ・販売数 32,000セット (1人5セットまで)
※申し込み者多数の場合は抽選
- ・抽選申し込み期間 6月1～15日
- ・抽選申し込み方法 インターネット、はがき、市役所窓口など
- ・問い合わせ 商工労政課 (内線308)

わくわく子育て商品券

- ・対象 18歳未満の子どもが3人以上の世帯に限る
- ・販売価格 1セット 10,000円 (1,000円券×14枚)
※抽選はありません。申し込み者には対象世帯の証明書を発行します。
- ・販売数 1,000セット (1世帯当たり2セットまで)
- ・証明書発行申し込み期間 6月1～30日
- ・証明書発行申し込み窓口 民生児童課のみ
- ・問い合わせ 民生児童課 (内線359)



誰もが生き生き暮らせるまちに 人権かがやきプラン策定

市は、これまで「綾部市人権教育・啓発推進計画」において、さまざまな人権問題の解決を目指した取り組みを進めてきました。しかし、今なお存在する人権問題や、新たな課題に対応するため、第2次綾部市人権教育・啓発推進計画「人権かがやきプラン」を策定しました。

環境の変化踏まえ計画見直し

本市の現状を見ると、いまだに同和問題をはじめとするさまざまな問題が発生しています。また、国際化や高齢化、インターネットの普及、価値観の多様化などにより、新たな人権に関わる事象も起こっています。「人権かがやきプラン」は、そうした現状を解決する取り組みとして、平成18年に策定した「綾部市人権教育・啓発推進計画」を見直したものです。

市民参加の人権施策

同プランを作成するに当たり、市は今回初めて人権教育・啓発推進計画策定検討委員会を設置。市長が15人の委員を

委嘱し、市民目線の議論を重ねました。

今後も講演会やイベントなど、市が行う人権施策に市民が参加・参画できる機会の拡大に努め、市民協働で人権問題の解決に取り組みます。

相談体制の充実を目指す

市が平成25年度に実施した「綾部市人権教育・啓発推進に関する意識調査」では、人権侵害を受けたと感じたとき、どう対応したかの問いに、「公的機関(法務局・府・市役所・人権擁護委員・警察など)に相談した」と回答した人が1割に満たず、3割以上の人が「なにもしないでそのままにした」と回答しています。

「公的機関(法務局・府・市役所・人権擁護委員・警察など)に相談した」と回答した人が1割に満たず、3割以上の人が「なにもしないでそのままにした」と回答しています。



今回の計画では新たに「人権擁護と救済の施策の推進」の項目を設け、人権侵害を受けたときの保護や救済体制の充実を図ります。

効率的な施策を推進

市は、関係機関や市民と連携し、誰もが安心して心豊かに暮らしていける真に人権が尊重されるまちづくりの推進のため、人権施策を総合的かつ効果的に進めます。



※今回策定した計画書の概要版を希望者に配布します。お問い合わせは、人権推進課 内線302へ。

綾部の発展に期待 京都産業大学と包括連携協定

市と京都産業大学(京都市北区、大城光正学長)は4月20日、地域社会の発展と人材の育成を図ることを目的に、包括連携協定を締結しました。

6つの連携事項

- (1) 教育研究を通じた地域の振興に関すること
- (2) 健康・福祉の増進に関すること
- (3) 環境保全に関すること
- (4) 文化、教育の振興に関すること
- (5) 産業の振興、まちづくりの推進に関すること
- (6) 人材の育成に関すること



協定書に調印を行った大城学長と山崎市長。4月20日、市役所で

連携するとどうなるの?



同大学との連携によって、グリーンツーリズムの推進による市の魅力創出や発信、大学が有する神山天文台と市天文館パオの連携による学校教育・生涯学習の推進などを予定しています。

今後さらに、相互的人的、物的、知的資源の活発な交流による、多面的な取り組みが期待できます。

善聞 語録



63

続・三遊間の「ロ」

4月に入って市役所や市立病院にも多くの新採職員を迎えた。私は以前、本稿において、求めるべき職員像として「三遊間のゴロ」を自発的に捕りに行くような心構えが必要では、と推奨したことを思い出した。

即ち行政の縦割り制度に縛られることなく、多様化する市民ニーズに柔軟に感じる態度が公務員に必要だと言った。その想いに変わりはないが、さらに今、持続的なシステムとして構築するには、野球の範疇を超えてサッカーや更にはバレーボールのようなチームを指すべきではないか、と考

野球は守備位置や打順が固定されていて、チームプレーでありながら基本的には分業体制による個人技のスポーツである。一方サッカーは、ポジションはあるものの状況に応じてディフェンスが攻撃にも参加したりするので、より臨機応変の戦術を要する。バレーボールに至ってはローテーションでアタッカーも後衛に回るため、自ずからレシーブの練習が不可欠だ。

組織の機構改革や人事異動にはいつも頭を悩ませるが、継続性による熟度のアップを採るか、刷新により新たな人材の開発や育成を図るか、という背反するバランスをいかに保つかがポイントとなる。詰まる所はシステムの作りになるが、個々のやる気や精神論に委ねることなくルールそのものを変えることで、より柔軟な組織に改編することが結果的に「三遊間のゴロ」に飛びつく早道に繋がるのではないか、と思いは巡る。

山崎善也(綾部市長)



府北部活性化へ協働・連携

綾部市など京都府北部地域5市2町は4月22日、「京都府北部地域連携都市圏形成推進宣言」を行いました。人口減少など共通の課題をもつ地域が協働・連携し地域循環型の経済成長、高次の都市機能の確保、生活関連機能の向上に取り組むため、同協議会で検討を進めます。



消防団活動の向上へ知識・技術を修得

府消防協会綾部市支部（支部長、馬嶋恒治・市消防団長）は4月19日、宮代町の綾部中学校で消防団新入団員・ポンプ操法指導者研修を実施し223人が参加。新入団員は町を守る消防団員としての心構えや、資器材の取り扱いなどを学習したほか、指導者は団長点検要領や小型ポンプ操法の指導方法について確認しました。

自然の中で動物との触れ合い楽しむ



位田町のふれあい牧場を管理する農業生産法人・農夢などは5月3日、綾部ふれあい牧場祭りを開催。当日は天候に恵まれ、多くの家族連れでにぎわいました。来場者は乗馬やツリークライミングなどを体験し、動物や自然と触れ合っで楽しいひとときを過ごしました。

東八田で汚水処理場が供用開始

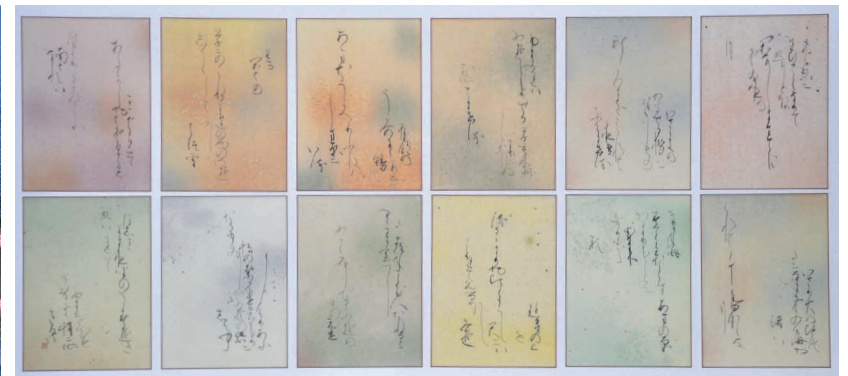
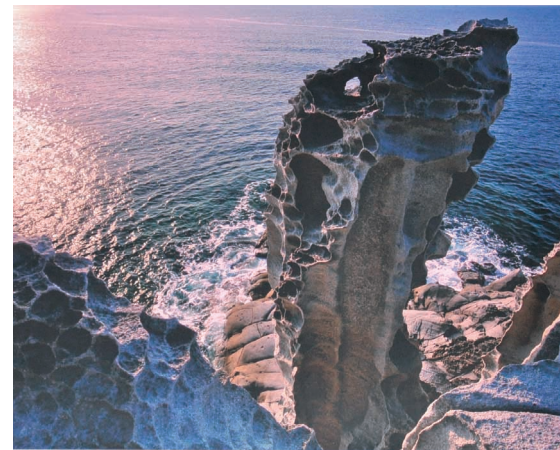


市が平成25年度から安国寺町で進めてきた汚水処理施設「東八田処理場」の整備が完了。4月28日に竣工式と見学会が開催されました。同処理施設は、5月1日から東八田地区・約220戸の生活排水を処理します。農業集落排水施設の完成は10地区目で、今回が最終事業になります。

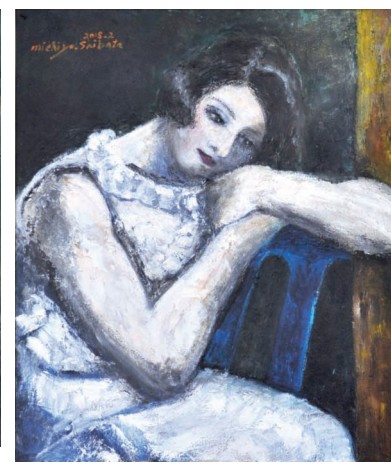
綾部市制施行65周年記念 第32回綾部市美術展



市と市教育委員会は5月2日から6日まで、並松町の市民センターで「綾部市制施行65周年記念第32回綾部市美術展」を開催。期間中は審査員によるギャラリートークも行われ、延べ912人が来場しました。



▲書「雅の記」 岩崎久美子
▲写真「聳立」 安達秀敏



▲日本画「森のざわめき」 中村清孝

▲洋画「夜想曲」 柴田美千代



※一部の作品はネットミュージアム「あやべ里山美術館」でも公開しています。 <http://www.ayabe-museum.jp/>

今回は、市内外の19人から247点の作品が寄せられ、4部門（書、洋画、日本画、写真）で審査。高校生からは、書と洋画の部に昨年を上回る9人からの出品があり、書の部で志水諒佳さんが奨励賞、洋画の部では松中町）【洋画】柴田美千代

- （舞鶴市）【日本画】中村清孝（福知山市）【写真】安達秀敏（青野町）
- 【記念賞】書 高田あゆみ（志賀郷町）【洋画】田口恵子（青野町）【日本画】野崎忠男（舞鶴市）【写真】浅野三雄（京丹波町）
- 【特選】書 大槻裕子（味方町）、朝倉義寛（福知山市）、阿江益美（同）【洋画】松本愛美（宮津市）【日本画】間島幸子（福知山市）【写真】鉄川重利（高津町）、梅原成元（幸通り）、山内きみ子（福知山市）、和田国広（同）、因幡孝一（同）、土佐征英（同）
- 【奨励賞】書 上田敏子（本町二丁目）、谷口光昭（福知山市）、志水諒佳（同）【洋画】上田遼（福知山市）【日本画】小滝ちづ子（福知山市）【写真】山口健治（青野町）、西岡正則（田野町）、室木高司（館町）、梅原隆（上野町）、鈴木隆（岡町）、四方敬一（下八田町）、大地洋次郎（福知山市）、藤原紀幸（同）、塩見勝彦（同）、大内昌男（同）、山内八郎（同）